

狼森 と 雪女

東京造形大学大学院
Hachioji 影絵プロジェクト
影絵公演『狼森と雪女』入場無料
2019年12月14日(土)

主催 東京造形大学大学院 Hachioji 影絵プロジェクト

ワークショップ

15:00-16:00 (定員 20 人)

影絵公演 16:15-17:00

会場 宗建寺 東京都青梅市千ヶ瀬町 6-734
(JR 青梅駅から徒歩 5 分)

音楽 大野慎矢 朗読 加藤亜依

協力 宗建寺 青龍 kibako 後援 青梅市

東京造形大学大学院 Hachioji 影絵プロジェクト 2019 年度作品

影絵

プロジェクトメンバー

陳 一琳、土井原 裕一、方 琦星、花 月、李 書韻、
劉 佳瑩、馬 超、長嶺 高文、聶 澤文、関藤 瑞生、
舒 暢、蘇 可芸、汪 睿、楊 欣宇、袁 德興、張 蓉

演目について

今年度の作品では、昨年度に引き続き「狼森と雪女」
(おおかみもりとゆきおんな) という演目の公演をいた
します。雪女のお話は、「怪談」で有名な小泉八雲
原作にあるものを原典としました。小泉八雲は雪女の
話を青梅の古老から聞いたと伝えられています。そこ
で、我々はそのお話の舞台となった青梅市内や御岳山
をモチーフに、昨年作品からさらに練り上げた現代
版雪女の物語を作りました。
青梅には、今も街道筋に古くからの町並みが残ってい
ます。多摩川を遡れば森が深まり、御岳山には神社を
中心にした信仰の天空集落があり、古くからの時間が
色濃く残る町です。歴史的時空を超えて、現代版の雪
女がどのように写し出されるか御期待ください。

東京造形大学大学院

Hachioji 影絵プロジェクト

影絵公演『狼森と雪女』

会場 宗建寺

東京都青梅市千ヶ瀬町 6-734

(JR 青梅駅から徒歩 5 分)

音楽 大野慎矢 朗読 加藤亜依

Hachioji 影絵プロジェクト概要展

2019 年 12 月 5 日 (木)~12 月 18 日 (水)

11:00~17:00 入場無料

会場 青龍 kibako

〈関連イベント〉

写真専攻見える化プロジェクト

『雪女の闇を歩く』

闊歩きガイド 中野 純 (体験作家)

2019 年 12 月 14 日 (土) 参加費無料

17:30~20:00

17:00 宗建寺集合

20:00 JR 河辺駅解散

Hachioji

影絵プロジェクト

東京造形大学大学院 Hachioji 影絵プロジェクトは、
2007 年度から始まった社会連携を目標におく授業で
す。このプロジェクトでは、江戸時代に興った伝統芸
能「写し絵」を研究対象としながら、さらに光と影を
使った幅広い表現として「影絵」をとらえた活動を続
けています。

影絵は、映像表現の歴史においてアニメのルーツとも
言われます。このプロジェクトでは八王子市郷土資料
館に保存されていた「風呂 (写し絵で使われる幻灯機)」
を採寸し、復元しました。その実績をもとに、像が写る、
動くという初源的な映像 (幻灯) の不思議を体感し、
伝統的な手法を使いながらも現代的な解釈を取り入れ
たオリジナル作品を制作、上演を主体に、多数のワー
クショップも開催しています。さらに、影絵を映像と
音楽と身体表現の総合的な劇的パフォーマンスと位置
づけ、造形大学が目指す各自の専門性を大切にしながら
も、さまざまな専門領域の横断性、総合性を研究し
つつ、地域社会との現代的なアートコミュニケーション
を実践しています。

授業担当 中里和人・首藤幹夫

2019 年 12 月 14 日 (土)

ワークショップ

15:00-16:00

(定員 20 人)

種板 (影絵の原画) を描いて物語に参加しよう。

物語の中で投影する絵を描きます。

描いた絵はお持ち帰りいただけます。

影絵公演

16:15-17:00

